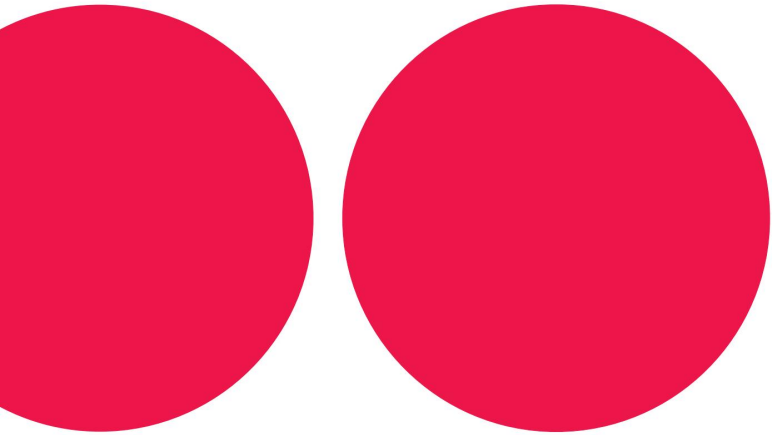
Machine Translated by Google

Polyend

ポリエンド
混乱
Essentials

必須参考文献集

ポリエンド•メス



Machine Translated by Google

Machine Translated by Google

概要

Mess（マルチエフェクト•ステップシーケンサー）は、シーケンス機能を備えた4トラック•エフェクトペダルです。Messは、従来のギター／楽器用ペダルとしてだけでなく、あらゆるデスクトップシンセサイザーのセットアップにも最適です。従来のリバーブやディレイに加え、実験的なサウンドデザインを促し、ペダルフォーマットではこれまで見たことのない新しいエフェクト、モジュレーション、機能を実現する多くのエフェクトを搭載しています。完全にカスタマイズ可能な4つのエフェクトトラック、アンビエントサウンドスケープ、グリッチシーケンス、さらにはお馴染みの4つのエフェクトチェーンなど、すべてが同期して動作します。Messは、4つのトラックで構成されています。

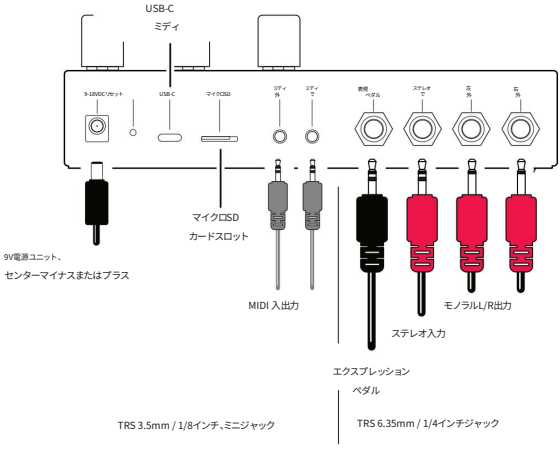
クラフト
複雑な

独立して使用することも、マルチエフェクトチェーンを作成することもできます。120種類以上のエフェクトからお選びいただけます。

そこから、可能性の世界はほぼ無限に広がります。同時に、Mess は伝統的かつ派手なエフェクト、クリエイティブなシーケンス、コンパクトなサイズを誇り、Polyend の個性と伝統のすべてをお届けします。極めて奇抜なエフェクトから伝統的なエフェクトまで、Mess はそのどちらにも優れています。Mess は、エフェクトに対するあなたの考え方を変えます。すべてのエフェクトは複数のパラメータのシーケンスを中心に設計されており、シーケンスごとに新しい発見があります。ダイナミック エフェクトは進化、変形し、標準的な反復エフェクト以上のものを生み出し、生命を吹き込みます。チャンスと確率のコントロールを内蔵した Mess は、これまでのどのペダルにも見られない、ランダムなグリッチ、スタッター、リピートを生成できます。

Machine Translated by Google

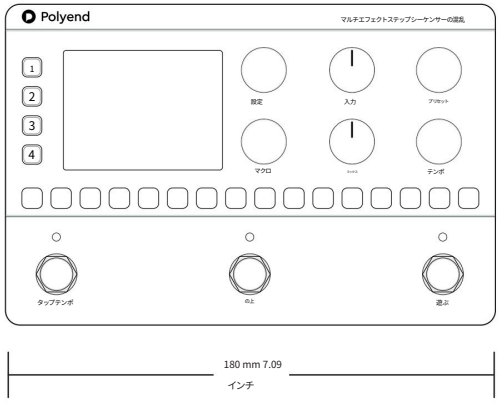
ハードウェアの概要



凹んだリセットボタンは、問題が発生した場合にデバイスの復旧に役立ちます。起動中に押すと、microSDカードから以前のOSがロードされます。以前のOSファイルをファームウェアフォルダに保存しておくと便利です。

電源は付属しておりません。
標準ペダル モデル (9 〜 18V DC、最小 560mA、センターマイナス (センタープラスも使用可能)) を使用します。

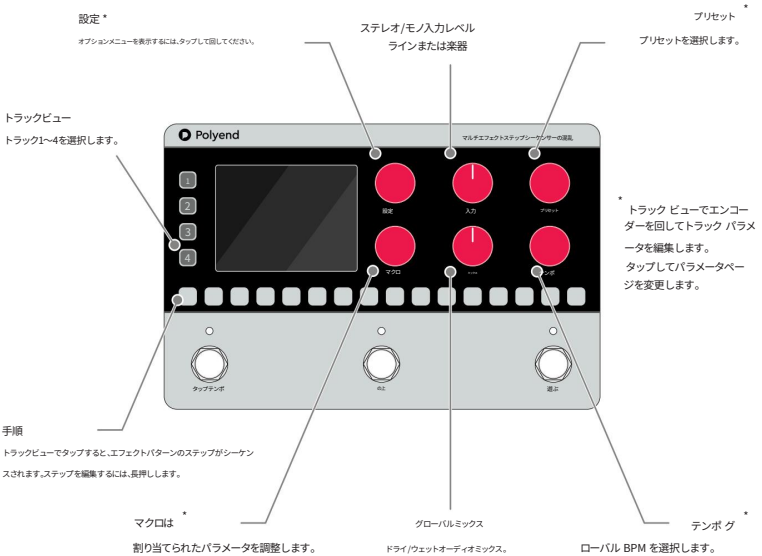
重さ
930グラム

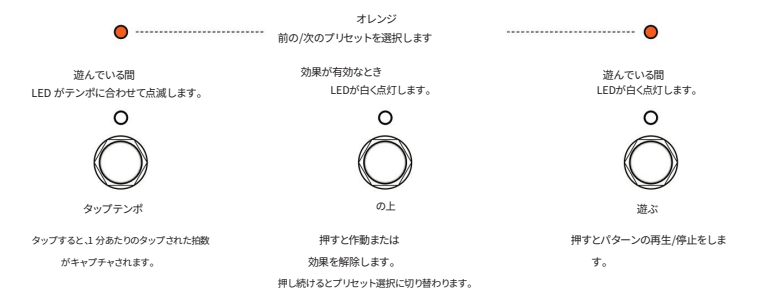


Machine Translated by Google

コントロールの概要

白いポジションインジケーターが付いた2つの赤いコントロールノブはロータリー式です。他の4つの赤いノブはプッシュ/ターン式エンコーダーです。押すとモードの選択、メニューウィンドウの表示、オプションの選択ができます。回すとオプションと選択肢を移動できます。説明文では、ノブとエンコーダーは括弧で囲んで表記します（例：(Tempo)）。フットスイッチは中括弧{Play}で、パッドステップボタンとトラックボタンは[Pad]または[Track 1]と表記します。





Machine Translated by Google

コントロールと画面表示の規則

Messは2つのビューで操作できます。メインスクリーンビューは、すべてのトラックと設定を一括コントロールできるデフォルトの操作モードです。このモードでは、各ユーザーインターフェースノブを使ってエフェクトチェーン全体をコントロールできます。トラックスクリーンビューでは、4つのトラックをそれぞれ個別に編集し、ステップパターンを作成してトラックのエフェクトを操作およびモジュレーションできます。これにより、エフェクトシーケンスを通して、変化のあるサウンドやグリッチのあるリズムを作成できます。トラックビューは、トラック[1]～[4]ボタンのいずれかをタップすることで選択できます。

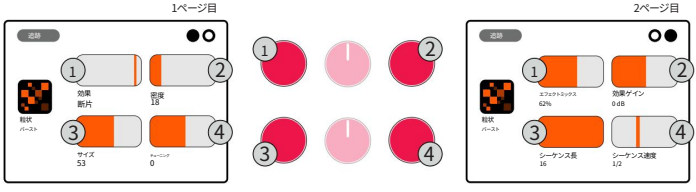
メイン画面

トラックが選択されていない場合のデフォルトページです。コントロールはラベルの通りの機能を操作します。

トラックスクリーン

トラック画面には、トラックを選択したときの動作環境のオプションが表示されます。
選択されているトラックには、トラックボタンが点灯します。表示される4つのパラメータはトラック設定を表し、それぞれ対応する4つのプッシュ/ターンエンコーダーで編集できます。いずれかのエンコーダーをタップすると、2つのパラメータページが切り替わります。選択されているページはページアイコンで表示されます。

各トラックには、エフェクト、シーケンサーの長さ、シーケンサーの速度、エフェクトのミックス、エフェクトのゲインという5つの汎用パラメータがあります。残りの3つのパラメータは、選択したエフェクトモデルに固有のものです。トラック[1]、[2]、[3]、[4]のいずれかをタップして、トラックとトラックビューを選択してください。



エフェクトパラメータは、それぞれのエンコーダーノブでコントロールします。エンコーダーノブをタップするとパラメータページが切り替わります。ノブを速く回すほど、パラメータの反復回数が大きくなります。

Machine Translated by Google

制御の詳細

コントロール	関数	説明
トラックビューボタン1～4		1～4を押してトラックを選択します。選択したトラックのトラックビューのオン/オフを切り替えることができます。一度に選択して編集できるトラックは1つだけです。トラックのステップが再生されている間、パッドが点滅します。トラックビューでは、エフェクトステップのシーケンスにメスパッドを使用します。
手順	パッドボタン	エフェクトパターンは16個のパッドを使ってシーケンスされ、ステップを作成します。ステップパッドを長押しすると、そのパッドの個々の設定や動作（確率設定など）を変更できます。トラックシーケンサーはトラックビューでのみ編集可能です。
タップテンポフットスイッチ		フットスイッチを連続タップすることで、タップ周波数に基づいて30～400BPMのテンポ（1分間の拍数）を設定できます。4回タップすることをお勧めします。タップ回数は画面に表示されます。演奏中は、タップLEDがBPM設定に合わせて白く点滅します。
の上	フットスイッチ	エフェクトチェーンのオン/オフを切り替えます。「オフ」に設定すると、完全にドライなオーディオ信号が出力されます。「オン」に設定すると、設定されたエフェクトチェーンが元のオーディオに適用されます。ドライ/ウェットを制御できます。
遊ぶ	フットスイッチ	タップすると現在のパターンが再生されます。ステップパッドは再生ヘッドの位置に応じて点灯します。トラックが選択されている場合は、ステップパッドの色がトラックの色を表します。 再生がオンのときは再生 LED が白く点灯します。
設定	プッシュエンコーダ	グローバルビューでタップすると設定メニューのオプションが開きます。ノブを回すとメニュー内を移動できます。タップするとサブメニューに移動したり、オプションを選択したりできます。 トラックビューでは、エフェクトモデルまたはエフェクトミックスの左上のパラメータを編集します。ノブをタップするとパラメータページが切り替わります。
マクロ	プッシュエンコーダ	グローバルビューでは、マクロに割り当てられたパラメータの値を調整します。マクロパラメータは設定メニューで設定できます。 トラック ビューで、左下のエフェクト固有またはシーケンスの長さのパラメータを編集します。 ノブをタップするとパラメータページが変更されます。
プリセット	プッシュエンコーダ	グローバルビューでは、プリセットをナビゲートして選択します。ナビゲートと選択中は、リアルタイムで自動的に読み込まれます。ノブを長押しすると保存メニューが開きます。 トラック ビューでは、エフェクト固有またはエフェクト ゲインの右上のパラメータを編集します。 ノブをタップするとパラメータページが変更されます。
テンポ	プッシュエンコーダ	回すとテンポ（BPM）を30～400BPMの間で調整できます。変更は即座に反映されます。外部MIDIクロックは内部テンポを上書きします。 トラック ビューでは、エフェクト固有の速度またはシーケンス速度の右下のパラメータを編集します。 ノブをタップするとパラメータページが変更されます。
入力	ノブ	メインステレオオーディオ入力レベルを調整します。
ミックス	ノブ	元のオーディオとエフェクトをかけたオーディオのドライ/ウェットバランスを調整します。完全にドライな信号（反時計回り）の場合、元のオーディオのみが出力されます。 完全にウェット（時計回り）にすると、完全に影響を受けたオーディオが出力されます。

Machine Translated by Google

基本的なエフェクトチェーンを使ったクイックスタート

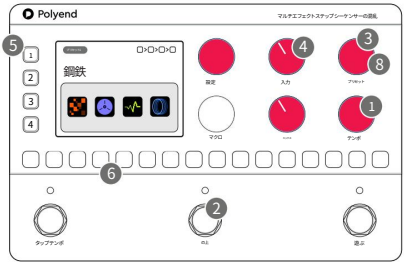
4つのトラックそれぞれに、n個のエフェクトチェーンと16ステップのエフェクトパターンを作成できます。ここでの仕組みについてはあまり気にせず、まずは始め、後で詳しく学んでいくのがポイントです。

1. メイン画面（トラックを選択していない状態）から始めましょう。まずは（テンポ）を回して110BPMに設定してください。これは後で変更できます。

2. 楽器をステレオ入力に接続します。デバイスのインピーダンスに合わせて、コンフィグ設定でライン入力または楽器入力を選択できます。フットスイッチ{On}がオフ（LEDが消灯）になっていることを確認してください。

3. （プリセット）を回して空のプリセットを選択します。

4. まずは（入力）を下げてみましょう。デバイスを再生し、適切な入力レベルに設定します。



5. [1] をタップしてトラック1のビューを開きます。ビューは2ページあり、（設定）をタップしてページを切り替えます。最初のページで（設定）を回してエフェクトを選択します。{オン} をタップしてエフェクトを「オン」にすると、LED が白く点灯し、外部楽器を演奏しながらエフェクトを聴くことができます。エンコーダーノブを回してサウンドを調整します。

6. シーケンサーの[パッド]をいくつかタップしてエフェクトトリガーを適用します。{Play}を押してシーケンサーを操作して出力を聴いてみましょう。ステップをホールドしながらパラメータエンコーダーを調整することで、ステップごとの設定を変更できます。設定を微調整しながら実験を続けましょう。

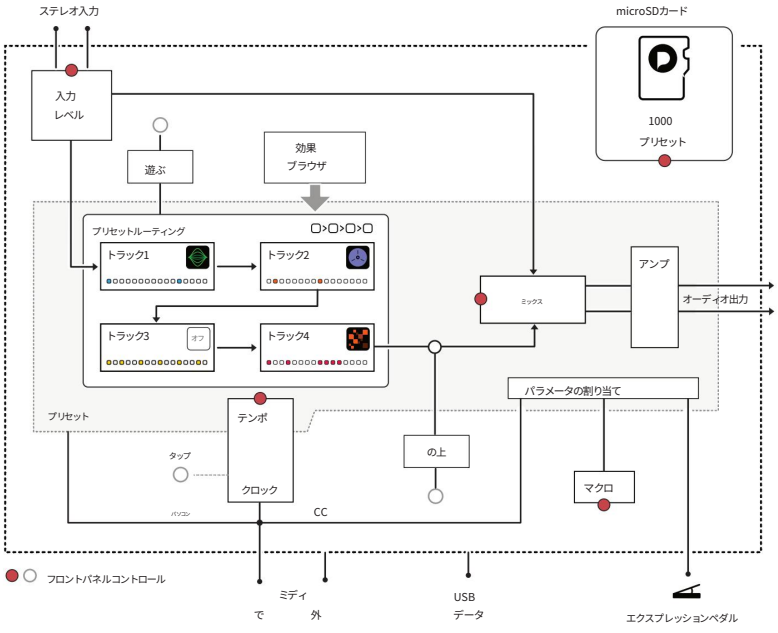
7. トラック[2]、[3]、または[4]に対して手順4と5を繰り返してエフェクトチェーンを構築します。

8. アクティブトラックボタン [1] - [4] をタップすると、トラックの選択が解除され、メインビューに戻ります。（プリセット）を長押しするとサブメニューが開き、作成したプリセットを保存できます。名前を付けるオプションが表示されます。

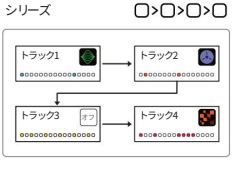
Machine Translated by Google

プリセット

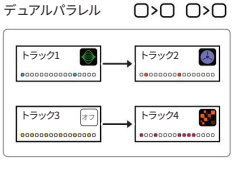
プリセットとは、4つのトラックすべてとその設定とパラメータをまとめたものです。プリセットは保存して後で呼び出すことができます。プリセットは、制作、サウンドデザイン、パフォーマンスエフェクトのライブラリを構築し、共有するのに役立ちます。



プリセットルーティング



オーディオはトラック 1,2,3,そして最後にトラック 4 を経由してルーティングされます。すべてのトラックはオーディオ チェーン内で連続しています。



オーディオはトラック1と2に直列にルーティングされます。また、トラック3と4にも直列にルーティングされます。
ペアは並行して動作します。

オーディオは各トラックにルーティングされます。
トラックは並行して動作します。

Machine Translated by Google

メスエッセンシャルズ

Mess を操作するための出発点は、プリセットを開くことです。プリセットは、4 つの空のトラックで構成された空のプリセット、またはさらに編集したりパフォーマンスやスタジオで使用したりするために以前に作成されたプリセットのいずれかです。

プリセットの選択

プリセット

------- 回すとプリセットブラウザが開きます

（プリセット）を回してナビゲートし、選択します。プリセットはブラウジング中にリアルタイムで自動的に読み込まれます。

「空」の曲スロットを選択して新しいプリセットを作成するか、既存のプリセットを選択します。

microSD カードのアクティビティが右上に表示されます。

プリセットの保存

プリセット

------- 長押しするとプリセット保存メニューが開きます。

保存オプション

命名画面

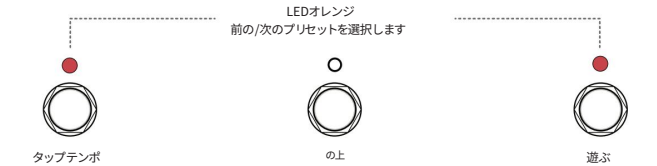
現在選択されているプリセットの保存オプションに移動します。（プリセット）を回して移動し、（プリセット）をタップして確定します。
microSD カードから利用できるプリセット スロットは 1000 個あります。

選択した名前に従って編集または保存を確認するための命名ページが開きます。
（プリセット）を回すと英数字を移動できます。（プリセット）をタップすると、ハイライト表示されている文字、コマンド、またはオプションを選択できます。

保存メニューからプリセットリストの順序を変更できます。読み込まれたプリセットはリストの下部に配置されますが、保存メニューオプションの「並べ替え」オプションを使用して、順序を上に移動できます。

Machine Translated by Google

ユーザーインターフェースノブを使ってプリセットをナビゲートするだけでなく、フットスイッチを使って{Play}キーで昇順、{Tap Tempo}キーで降順でプリセットを切り替えることもできます。スイッチを押すたびにプリセットが切り替わります。



フットスイッチがラベルのとおりに動作する通常の動作モードでは、LED は白色になります。

プリセットルーティングの設定

設定

グローバルビューで、 (設定)をタップして設定オプションを開きます。 (設定)を回して「プリセットルーティング」に移動し、タップしてサブメニューを開きます。

設定 :直列、デュアル並列、並列。グローバルビューまたはトラックビューのメインページには、現在のルーティングが表示されます。

▢>▢>▢>▢ シリーズ。

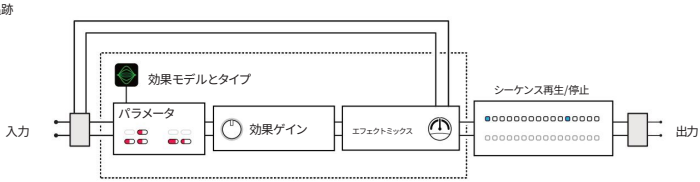
▢>▢ ▢>▢ デュアルパラレル。

▢ ▢ ▢ ▢ 平行。

エフェクトトラック

エフェクトトラックは、特定の順序でルーティングまたはチェーン接続されたステレオエフェクトの集合体として機能します。ただし、各トラックは同じアーキテクチャを持ちます。エフェクトモデルの構成、パラメータ設定、そしてパターンが、各トラックに独自のアイデンティティと個性を与え、独自の個性を生み出します。

追跡



Machine Translated by Google

エフェクトチェーンの作成

エフェクトチェーンは、任意のトラックまたはすべてのトラックを使用して作成できます。トラックのルーティングは設定で変更できますが、ここでは簡略化のため、デフォルトのシリーズルーティング（トラック1～4が直列に動作する）を前提とします。トラックにはエフェクトを追加することも、追加しないこともできます。エフェクトの設定と編集はトラックビューで行います。シーケンスを使用しない場合は、通常のエフェクトチェーンとして動作します。

トラックを選択

編集するトラック（例：[トラック1]）をタップします。トラックビューではトラックボタンが点灯します。各トラックにエフェクトをロードできます。

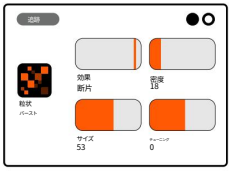
トラックエフェクトを切り替えるには、最初のトラックを押したまま、交換するトラックを押し続けます。例：[トラック 1] を押したまま [トラック 3] をタップします。

スワップトラック

効果を割り当てる

トラック ビューで、（設定）を回してエフェクト タイプとエフェクトを選択します。

設定



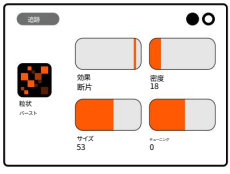
（設定）を回してエフェクトの種類とエフェクトを選択します。これは、トラック設定の 1 ページ目の 4 つのパラメータの左上に表示されます。

（設定）を押したまま回すと、エフェクトの種類間を移動したりジャンプしたりできます。

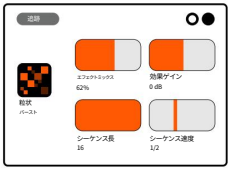
エフェクトの編集

トラック ビューで、4 つのエンコーダーのいずれかをタップしてパラメーター ページを変更します。4 つのエンコーダーのいずれかを回して、それぞれのパラメータを編集します。

1ページ目



2ページ目



Machine Translated by Google

エフェクトのカテゴリーとプリセットの概要

パンニング	ステレオスプレッドコントロール。
単純	ステップごとのパンナー。
ドリフト	パンニングの LFO コントロールは、ステレオ フィールドを漂うテンポとは結び付けられません。
同期済み	選択したテンポとサブディビジョンに基づいてパン信号を同期します。
シェイパー	サウンドを彫刻したり、活性化したり、破壊したりするウェーブシェイパー。
飽和器	微妙な高調波歪み。
オーバードライブ	破壊的な歪みの限界まで押し上げました。
ダイオードクリッパー	対称ダイオードクリッピング。
ダイオードクリッパー+	非対称ダイオードクリッピング。
ウェーブシェイパー	正弦波を使用して信号を形成します。
ウェーブシェイパー+	歪んだ波形を使用して信号を形成します。
ファズ	クラシックなファズトーン。
エキサイター	高音域の周波数を励起します。トーンノブで周波数を選択します。
ビットクラッシャー	オーディオ信号のビット数を減らします。
整流器	クリップされたドライブトーンとオクターブアップエフェクトを実現するために、バイポーラ信号をユニポーラ信号に変換します。
再登場	サンプル レートの削減。
リダックス+	より顕著な効果を得るための代替サンプルレート削減アルゴリズム。
フィルター	特定の周波数を減らすか増やします。
ハイパス	選択したフィルター周波数を超える高周波数を通過させ、低い音をカットします。
ローパス	選択したフィルタ周波数より下の低周波数を通過させ、高周波数をフィルタリングします。
バンドパス	特定の周波数帯域のみを通過させ、それより高い周波数とより低い周波数をフィルタリングします。
ローシェルフ	ハードカットなしで低周波数をブーストまたはカットします。
ハイシェルフ	ハードカットなしで高周波数をブーストまたはカットします。
形式	シーケンス可能な母音オプションを備えたボーカル スタイルの共鳴フィルター。
イコライザ	低、中、高ゲイン帯域を制御します。

Machine Translated by Google

メスエッセンシャルズ

ピッチシフター	モノフォニックピッチトラッキングによるピッチシフト。
トーン	品質管理機能を備えた標準ピッチトラッキングピッチシフター。
質感	極端なピッチ変更によりユニークな結果を生み出すテクスチャ ピッチ シフター。

スペクトラライザー	リアルタイムの周波数スペクトル操作。
エキスパンダー	広く持続するスペクトル化フィールドを作成します。
スクリーマー	タイトなスペクトラム化アルゴリズムはドラムに最適です。

Micro Looper は、ステップ長の4 倍から 1/16 までのオーディオのスライスをサンプリングします。	
スライス	選択したステップをスライスして繰り返します。ピッチの上下はテンポに同期します。
ステレオスライス	L/Rピンポンモードでスライスされたリピート音。ピッチの上下はテンポに同期します。
スポイト	スライスはテンポ同期されていますが、テンポから自由に再ピッチできます。
ステレオドロッパー	スライスは L/R ピンポン モードでテンポ同期されますが、テンポは自由に再ピッチされます。
Rev	スライスは逆方向に再生されます。
ステレオレブ	スライスは L/R ピンポンリバースモードで再生されます。

リバーブ	マルチモードリバーブ。
チェンバーリバーブ 大きな大聖堂や広い空間に最適。4つのモデルをご用意。	
ホールリバーブ	モジュレーションのかかった暗いホールから明るい空間まで、ホールサイズのリバーブ。5つのモデル。
プレートリバーブ	金属板のシミュレーション。4つのモデルが利用可能です。
ルームリバーブ	クラブからガレージまで、あらゆる空間に対応するルームサイズのリバーブ。7つのモデルをご用意。
ワープリバーブ	ねじれ、変調、そして変化する残響音。6つのモデルをご用意。

Machine Translated by Google

遅れ	マルチモード遅延。
マルチタップディレイ	ダブルタップとトリプルタップのディレイモード、5つのモデルをご用意。
ピンポンディレイ	左右のピンポンステレオディレイ、3つのモデル。
アナログディレイ	BBDからマグネティックドラムヘッドまで、アナログディレイエンジンのシミュレーション、5つのモデルを用意しています。
テープディレイ	アナログテープスタイルのディレイを再現、4つのモデルを用意。
LoFi遅延	実験的な変調LoFi遅延、2つのモデルが利用可能です。
シングルディレイ	シングルタップモノディレイ、3つのモデルを用意。
同期されていない遅延	比率ではなく Hz でシーケンスできる、時間外エフェクト用の自由に実行されるディレイ ライン、3 つのモデルが用意されています。

変調	マルチモード変調。
アナログコーラス	ダブルタップとトリプルタップのディレイモード、6つのモデルをご用意。
ステレオコーラス	ゆっくりとしたワイドなステレオサウンドからクロスモジュレーション・フィードバックまで、幅広いサウンドを生み出すステレオコーラスエフェクト、4つのモデルをご用意。
ビブラート	微妙なピッチの揺れ、2つのモデルをご用意。
フランジャー	クラシックなフランジングからジェットパックサウンドまで、 7つのモデルをご用意。
フェイザー	ゆっくりとしたスイープから渦巻くような波紋まで、位相の音を奏でます、3つのモデルをご用意しています。
テープ変調	テープスタイルのモジュレーション、2つのモデルを用意。
リール	テープダブルトラッカーエミュレーション。
同期トレモロ テンポに同期したトレモロ、比率はシーケンス可能です。	
非同期トレモロロックされたテンポの制約なしにトレモロの速度をシーケンスします。	

グラニュラーバースト	入力音に基づいてリアルタイムの粒状バースト変化が起こり、 シーケンサーはグラニュラー再生のパラメータを制御します。
ポートレート	サンプリングされたオーディオに応じて、リピーターまたはドロップアウト スタイルのサウンド用の大きな粒状ウィンドウ。
断片	信号は小さな断片に分割され、再ピッチされます。
ぼかし	粒子がぼんやりとぼやけて繰り返し再生されます。
バースト	再トリガーされるまで持続する粒状の長い無料エフェクト。

Machine Translated by Google

メスエッセンシャルズ

パーティクル サンプラーはステップ	パーティクルサンプラーは、音声をグラニュラーエンジンに送信します。 ごとに実行され、アクティブなステップでサンプリングを行います。
フラックス	進化する粒子に合わせて変化する粒状効果。
スキャナー	オーディオの小さな断片をスキャンして取得します。
うるさい	汚い音の断片。
転覆	パーティクルに多少の揺れを加えます。
散らばる	グリッチのあるウォッシュを作成するために、サンプルを広範囲の時間にわたって拡散します。

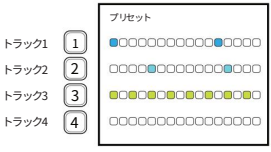
Machine Translated by Google

エフェクトトラックのシーケンス

4つのトラックそれぞれに16ステップのシーケンサーが搭載されており、トラック全体にわたってエフェクトをシーケンスできます。アクティブなステップごとに対応するエフェクトがトリガーされ、各ステップに個別のパラメータ設定をプログラムすることで、エフェクトに時間経過に伴う変化や動きを加えることができます。

シーケンサーの制御

ステップパラメータを適用するには、シーケンサーを再生する必要があります。再生とエフェクトのオン/オフは、トラックモードとグローバルモードで制御できます。



の上

[オン]をタップすると、すべてのエフェクトのオン/オフを切り替えられます。オンのときは、LEDが白く点灯します。

遊ぶ

シーケンサーを再生または停止するには、[再生] をタップします。
再生中はLEDが白く点灯します。

シーケンスの作成または編集

選択したエフェクトトラックのパターンを編集できます。トラック（例 :[1]）を押してトラックを選択してください。

ステップの長さと速度/分割は、選択したトラックのシーケンサー パラメータで編集できます。

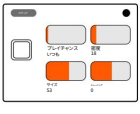
手順

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

トラックシーケンス

ステップタップステップパッドを有効/無効にします。
アクティブ = 点灯。

ステップの長さを延長する最初のステップ パッドを押したまま、最後のパッドをタップします。
アクティブ = 点灯 / 薄暗く点灯。



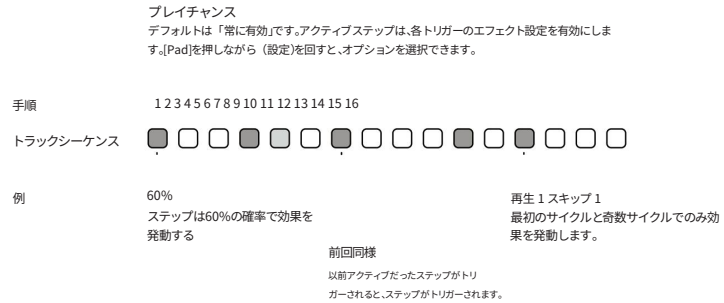
ステップ設定を編集するには、ステップ パッドを押したままノブを回します。

ステップごとに編集できるパラメータ オプションは、割り当てられたエフェクト タイプによって異なります。
プレイチャンスはすべてのエフェクトで使用でき、アクティブステップの「トリガー」の確率を設定します。

Machine Translated by Google

プレイチャンスステップパラメータ

再生確率には、再生中にアクティブなステップがエフェクトをトリガーするかどうかを決定する一連のオプションがあります。これはステップ確率と呼ばれることもあります。ロジックまたはパーセンテージのオプションセットが用意されており、各ステップに1つずつ割り当てることができます。再生確率はステップごとにのみ設定可能であり、グローバルパラメータとしては設定できません。

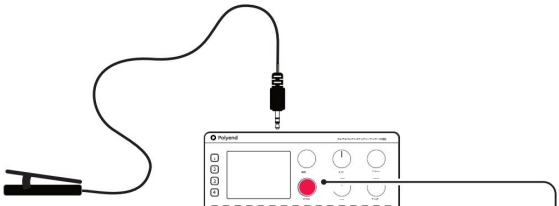


オプション	説明
いつも	これはデフォルトの通常モードです。アクティブなステップは、各パターンサイクルで常に100%トリガーされます。
確率10～90%	各サイクルでステップがトリガーされる確率を設定します。%ageの値が高いほど、ステップがトリガーされる確率が高くなります。
前回同様	このステップは最後のトリガーを評価し、同じロジックを適用します。つまり、前のステップがトリガーされた場合、このステップもトリガーされます。
再生X スキップY	このロジックは、シーケンサーの再生サイクル数（X+Y)に基づいています。再生とは、ステップがトリガーされ、エフェクトステップパラメータが適用されることを意味します。Xは、スキップが適用される前にステップエフェクトをトリガーするシーケンサーサイクル数を設定します。 その後、Skip はカウントをリセットする前に、サイクル カウント Y のステップを無視します。 その後、X の再生が再開されます。
スキップX 再生Y	このロジックは、シーケンサーの再生サイクル数（X+Y)に基づいています。スキップとは、ステップが無視されることを意味します。つまり、エフェクトステップパラメータは適用されません。Xは、再生が適用される前にステップを無視するシーケンサーサイクル数を設定します。 その後、Play は Y サイクル分のステップ効果をトリガーし、その後カウントをリセットします。Skip は X サイクル分を再開し、これを繰り返します。

Machine Translated by Google

マクロとエクスプレッションペダル

インターフェース（マクロ）ノブと外部エクスプレッションペダル入力は、割り当てられたパラメータを直接変更およびモジュレーションするように設定できます。ノブに1つのパラメータ、エクスプレッションペダル入力に1つのパラメータを割り当てることができます。割り当ては設定で行います。

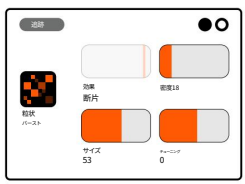


エクスプレッション ペダル
アナログ ペダルを割り当てられたエフェクト パラメータに接続できます。

プリセット マクロ ノブノブを割り当てて、エフェクト パラメータに直接アクセスすることができます。

パラメーターオプション使用可
能なパラメーターは、各トラックの現在のエフェクトによって異なります。設定は、（設定）のプリセットマクロとエクスプレッションペダルのオプションで行います。5つのパラメーターをモジュレーションできます。

オプション
トラック x パラメータ 1
トラック x パラメータ 2
トラック x パラメータ 3
トラック×ゲイン
トラック×ミックス



パラメータ1
パラメータ2 パラメータ3

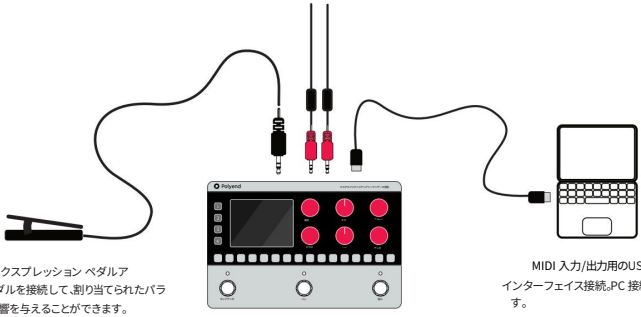
トラック×ミックス
トラック×ゲイン

Machine Translated by Google

MIDIインターフェース

MessはMIDI 3.5mmジャックを介してMIDIメッセージの送受信が可能です。MIDI入力にはMIDIタイプAまたはB、MIDI出力にはタイプBを使用できます。また、USB-Cインターフェースを介してMIDIメッセージの送受信も可能です。Messはプログラムチェンジ、PCメッセージ（プリセット切り替え）、コントロールチェンジ、CCメッセージ（マッピングされたパラメータの変更）に対応しています。クロックとトランスポートは、内部または外部MIDIコントローラーを介して制御できます。

MIDI TRS
他のオーディオ機器への入出力インターフェース



エクスプレッション ペダルア
ナログ ペダルを接続して、割り当てられたパラメータに影響を与えることができます。

MIDI 入力/出力用のUSB-C
インターフェイス接続。PC 接続に最適です。

時計と交通

Messの再生開始/停止とテンポを制御するには、それぞれのメッセージを送信する接続されたポートの外部MIDI設定を行います。また、Messはクロックとトランスポート出力を他のデバイスに送信することもできますが、これもMIDI設定で設定します。

Mess は、16 個の標準 MIDI チャンネルのいずれかで受信した MIDI メッセージに反応します。

Machine Translated by Google

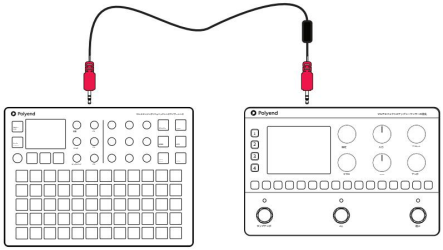
MIDI CCマッピング

Messパラメータには、一連のMIDIマッピングが事前定義されています。CCまたはコントロールチェンジメッセージは、受信したMIDIメッセージを使用してパラメータ値に影響を与えます。

CC番号に割り当てられたMIDI CCコントロールは、Messの送信先を制御します。

ポリエンドシンセ

MIDI コントローラー (たとえば、ノブから CC メッセージを送信する Synth の MIDI Instrument オプション)。



トラック1	CC番号
エフェクトミックス	70
効果ゲイン	74
パラメータ1	80
パラメータ2	84
パラメータ3	88

トラック2	CC番号
エフェクトミックス	71
効果ゲイン	75
パラメータ1	81
パラメータ2	85
パラメータ3	89

トラック3	CC番号
エフェクトミックス	72
効果ゲイン	76
パラメータ1	82
パラメータ2	86
パラメータ3	90

トラック4	CC番号
エフェクトミックス	73
効果ゲイン	77
パラメータ1	83
パラメータ2	87
パラメータ3	91

グローバル	CC番号
グローバルミックス	78
グローバル入力	79

Machine Translated by Google

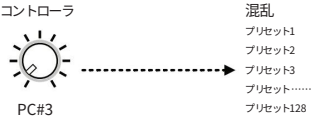
PCメッセージでプリセットを変更する

MessがMIDI PCメッセージを受信すると、プリセットが変更されます。最初の128個のプリセットは、MIDI PCメッセージでアクセスできます。プログラムチェンジメッセージは多くのハードウェアデバイスやDAWから送信できますが、MessもMIDI PCメッセージを受信するように設定する必要があります。設定可能なオプションは以下のとおりです。

（設定）> MIDI > PC入力…を押します。PCのMIDI入力（例 :USB）を設定します。

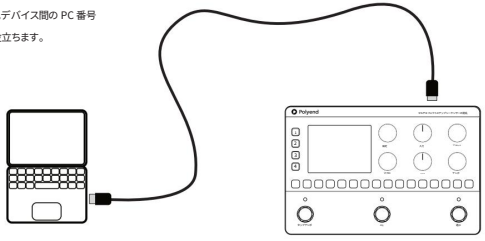
（設定）> MIDI > PC入力チャンネル…を押します。MIDI入力チャンネルを設定します（例 :2）

MIDI PC コントロールは、1 ～ 128 のプリセットにわたって Mess 内のプリセットを変更します。



DAWまたはコントローラー

デバイスは PC メッセージを 0 または 1 から開始できます。デバイス間の PC 番号が適切に揃っていることを確認するために実験してみると役立ちます。



USB-Cインターフェース

例: DAW送信
MIDI経由のPCメッセージ

Machine Translated by Google

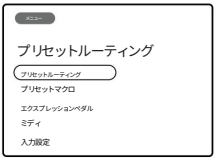
設定

メインメニューには、(設定)ノブを長押しすることでアクセスできるグローバルオプションとトラックオプションが複数用意されています。ナビゲーションと選択は、(設定)ノブを回すか押すことで行います。メニューオプションを選択すると、編集するパラメータを指定したり、サブメニューに移動したりすることができます。
メニュー構造に戻るための「戻る」オプションや「終了」オプションも利用できる場合があります。

設定

押し続けるとメインメニューにアクセスできます。

オプションを移動するには、 (設定)を回します。
サブメニューまたはオプションを選択するには押します。



プリセットルーティング

オプション	説明
シリーズ	オーディオは各トラック 1-2-3-4 に連続してルーティングされます。
デュアルパラレル	オーディオはトラック1-2と3-4に直列にルーティングされ、各ペアは並列に動作します。
平行	オーディオは各トラックに個別にルーティングされます。すべてのトラックは並列に動作します。

プリセットマクロ

オプション	説明
トラック1 パラメータ1	マクロノブをパラメータ 1 に設定します。
トラック1パラメータ2	マクロノブをパラメータ 2 に設定します。
トラック1パラメータ3	マクロノブをパラメータ3に設定します。
トラック1ゲイン	マクロノブをトラックゲインに設定します。
トラック1ミックス	マクロノブをトラックミックスに設定します。
トラック2 パラメータ1	マクロノブをパラメータ 1 に設定します。
トラック2 パラメータ2	マクロノブをパラメータ 2 に設定します。
トラック2 パラメータ3	マクロノブをパラメータ3に設定します。
トラック2ゲイン	マクロノブをトラックゲインに設定します。
トラック2ミックス	マクロノブをトラックミックスに設定します。

Machine Translated by Google

プリセットマクロ（続き）

オプション	説明
トラック3パラメータ1	マクロノブをパラメータ 1 に設定します。
トラック3 パラメータ2	マクロノブをパラメータ 2 に設定します。
トラック3 パラメータ3	マクロノブをパラメータ3に設定します。
トラック3ゲイン	マクロノブをトラックゲインに設定します。
トラック3ミックス	マクロノブをトラックミックスに設定します。
トラック4パラメータ1	マクロノブをパラメータ 1 に設定します。
トラック4 パラメータ2	マクロノブをパラメータ 2 に設定します。
トラック4 パラメータ3	マクロノブをパラメータ3に設定します。
トラック4ゲイン	マクロノブをトラックゲインに設定します。
トラック4ミックス	マクロノブをトラックミックスに設定します。
マスター入力	マクロノブをマスター入力レベルに設定します。
マスターミックス	マクロノブをマスターミックスに設定します。

エクスプレッションペダル

関数	オプション	説明
	エクスプレッションペダル	
モード	3ボタンスイッチ	
	2ボタンスイッチ	
ペダル パラメータ	トラック 1 パラメータ 1 ペダルをパラメータ 1 を制御するように設定します。	
	トラック 1 パラメータ 2 ペダルをパラメータ 2 を制御するように設定します。	
	トラック 1 パラメータ 3 ペダルをパラメータ 3 を制御するように設定します。	
	トラック1ゲイン	トラックゲインを制御するペダルを設定します。
	トラック1ミックス	ペダルをトラックミックス制御するように設定します。

Machine Translated by Google

エクスプレッションペダル（続き）

関数	オプション	説明
ペダル パラメータ	トラック 2 パラメータ 1	ペダルをパラメータ 1 を制御するように設定します。
	トラック 2 パラメータ 2	ペダルをパラメータ 2 を制御するように設定します。
	トラック 2 パラメータ 3	ペダルをパラメータ 3 を制御するように設定します。
	トラック2ゲイン	トラックゲインを制御するペダルを設定します。
	トラック2ミックス	ペダルをトラックミックス制御するように設定します。
	トラック 3 パラメータ 1	ペダルをパラメータ 1 を制御するように設定します。
	トラック 3 パラメータ 2	ペダルをパラメータ 2 を制御するように設定します。
	トラック 3 パラメータ 3	ペダルをパラメータ 3 を制御するように設定します。
	トラック3ゲイン	トラックゲインを制御するペダルを設定します。
	トラック3ミックス	ペダルをトラックミックス制御するように設定します。
	トラック 4 パラメータ 1	ペダルをパラメータ 1 を制御するように設定します。
	トラック 4 パラメータ 2	ペダルをパラメータ 2 を制御するように設定します。
	トラック 4 パラメータ 3	ペダルをパラメータ 3 を制御するように設定します。
	トラック3ゲイン	トラックゲインを制御するペダルを設定します。
	トラック3ミックス	ペダルをトラックミックス制御するように設定します。
	マスター入力	ペダルをマスター入力レベルを制御するように設定します。
	マスターミックス	マスター ミックスを制御するペダルを設定します。

ミディ

関数	オプション	説明
出勤	内部	時間ベースの機能（例 :テンポ）では内部クロックを使用します。
	ジャック	時間ベースの機能（例 :テンポ）には、MIDIジャック入力に接続された外部クロックを使用します。クロックが認識されると、テンポ欄に「Ext」と表示されます。
	USB	時間ベースの機能（例 :テンポ）には、USBに接続された外部クロック入力を使用します。クロックが認識されると、テンポに「Ext」と表示されます。
輸送イン	オフ	再生などの外部トランスポート機能はオフになっており、無視されます。
	ジャック	再生などのトランスポート機能は、MIDI ジャック入力に接続された外部デバイスから制御されます。
	USB	再生などのトランスポート機能は、USB に接続された外部デバイス入力から制御されます。

Machine Translated by Google

MIDI （続き）

関数	オプション	説明
PC入力	オフ	外部プログラム変更機能はオフになっており、無視されます。
	ジャック	曲を変更するためのプログラム変更メッセージは、MIDI ジャック入力に接続された外部デバイスから制御されます。
	USB	曲を変更するためのプログラム変更メッセージは、USB に接続された外部デバイス入力から制御されます。
	USBとジャック	曲を変更するためのプログラム変更メッセージは、MIDI ジャックまたは USB に接続された外部デバイス入力から制御されます。
PC入力チャネル	オムニ	すべてのチャネルでプログラム変更メッセージをリッスンします。
	1-16	プログラム変更メッセージを聞くための個別の MIDI チャンネルを選択します。
CC入力	オフ	外部制御変更機能はオフになっており、無視されます。
	ジャック	パターンを変更するためのコントロールチェンジメッセージは、MIDI ジャック入力に接続された外部デバイスから制御されます。
	USB	パターンを変更するためのコントロールチェンジメッセージは、USB に接続された外部デバイス入力から制御されます。
	USBとジャック	パターンを変更するためのコントロールチェンジメッセージは、MIDI ジャックまたは USB に接続された外部デバイス入力から制御されます。
CC入力チャンネル	オムニ	すべてのチャネルでコントロール変更メッセージをリッスンします。
	1-16	コントロール変更メッセージを聞くための個別の MIDI チャンネルを選択します。
退勤	オフ	内部クロックは送信されません。
	ジャック	内部クロックは MIDI ジャック出力から送信されます。
	USB	内部クロックは USB 出力から送信されます。
	USBとジャック	内部クロックは MIDI ジャックと USB 出力で送信されます。
輸送アウト	オフ	内部トランスポート制御は送信されません。
	ジャック	内部トランスポートの再生/停止コントロールは、MIDI ジャック出力から送信されます。
	USB	内部トランスポートの再生/停止コントロールは USB 出力から送信されます。
	USBとジャック	内部トランスポートの再生/停止コントロールは、MIDI ジャックと USB 出力で送信されます。
戻る		構造内のメイン メニュー レベルに戻るコマンド。

Machine Translated by Google

入力設定

関数	オプション	説明
モード	楽器	ギターなどの楽器入力用に入力を準備します。
	ライン	入力をライン入力（シンセサイザー）の準備に設定します。
チャンネル	単核症	モノラル TS 信号を受け入れるように「ステレオ入力」ソースを設定します。
	ステレオ	ステレオ TRS 信号を受け入れるように「ステレオ入力」ソースを設定します。
戻る		構造内のメイン メニュー レベルに戻るコマンド。

LEDの明るさ

関数	オプション	説明
LEDの明るさ	高い	LED の最も明るい設定。
	中くらい	中程度のLEDの明るさ。
	低い	LED の最低設定。

ファームウェア

オプション	範囲	説明
ファームウェア更新コマンド		ファームウェア バージョンを更新するために、microSD カードからファームウェア ファイルの選択を開始します。
バージョン	現在のファームウェア バージョンのインジケータのみの情報。	
建てる	インジケータのみ 現在のファームウェア バージョンのビルド バージョン。	

Machine Translated by Google

ファームウェアアップデート

Polyendは、バグ修正や新機能の追加のため、定期的にファームウェアのアップデートを提供する場合があります。アップデートは複数の方法で実行できます。アップデートを実行する際は、各アップデートに付属するPolyendのマニュアルに従うことを強くお勧めします。ここで説明するマニュアルは一般的なガイドです。アップデートや詳細情報にアクセスするには、Polyendのサイトで製品を登録し、サブスクリプションをご利用ください。

▌ファームウェアアップデート

1. Polyend アカウントから最新のファームウェアをダウンロードします。

2. ダウンロードした.pmfファームウェアファイルを、microSDカードのルートディレクトリにある/Firmwareフォルダにコピーします。

3. microSD カードを Mess に挿入し、電源を入れます。

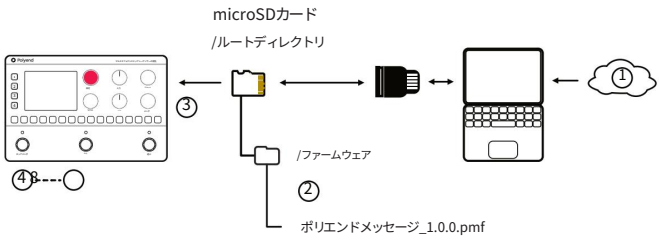
4. (設定)ノブを押して、メインの構成と設定メニューを開きます。

5. 「ファームウェア」サブメニューをハイライト表示します。「ファームウェアの更新」機能を開き、インストールするファームウェアのバージョンをハイライト表示します。

6. (設定)ノブを押してファームウェアを選択します。

7. ファームウェアがインストールされ、画面に表示されるプロンプトに従って操作します。
インストールプロセスは通常 1 分未満です。

8. 完了すると、Mess は自動的に再起動します。



Machine Translated by Google

定義の要約

Mess :4トラック•マルチエフェクト•シーケンサー•ペダルの名称です。各トラックには16ステップのシーケンサーが搭載されており、変化のあるエフェクトパターンやグリッチのあるエフェクトパターンを作成できます。

トラック :各トラックは、エフェクトモジュールとその設定で構成されています。これらを使用して、入力オーディオに処理や効果を加えることができます。各トラックには最大16ステップが用意されており、エフェクトパターンをプログラムできます。4つのトラックを並列または直列にルーティングすることで、複雑で興味深いエフェクトチェーンを構築できます。トラックを選択すると、Mess はトラックビューに表示されます。

パターン: 4 つのトラックに作成されるシーケンス (それぞれ最大 16 ステップ) をパターンと呼びます。

プリセット :プリセットには、4つのトラックすべての設定と一般的な設定が保存されます。これにより、定義済みの設定のライブラリを作成、保存、呼び出すことができます。

テンポ: クロックは Mess ペダルを制御し、シーケンサーの速度を 30 ～ 400 の範囲の 1 分あたりの拍数 (BPM) で設定します。外部 MIDI クロックを使用して Mess のテンポを制御することもできます。

マクロ :マクロは、選択したパラメータをフロントパネルに表示し、マクロノブを使って直接操作できるようにします。これにより、手動でパラメータを変更したり、選択したパラメータを調整したりすることで、アドリブやパフォーマンスを即座にサポートできます。

プレイチャンス: プレイチャンスは、個々のステップに割り当てることができる確率設定です。
これにより、パーセンテージまたはシーケンサー ロジックに基づいて、シーケンス内でステップが再生される可能性が設定されます。

エクスプレッションペダル :様々なパラメータをコントロールできるよう設定可能な外付けフットペダルです。Messに接続することで外部コントロールやモジュレーションを行える、オプションのサードパーティ製デバイスです。マクロノブとエクスプレッションペダルはどちらも、定義済みのパラメータをコントロールできます。

MIDI: MIDI（Musical Instrument Digital Interface)は、オーディオ機器間の通信に使用されるプロトコルです。Messペダルは、TRSまたはUSBコネクタを使用してMIDI入力を受け付け、MIDI出力を送信します。MIDIコントロールは、パラメーター（CC)の調整、トランスポート、クロックの制御、プリセットの変更（PC)に使用できます。

Machine Translated by Google

Machine Translated by Google

変更履歴

OSと手動機能アップデート	手動アップデート
1.0.0 a	リリースバージョン
1.0.0 b	ハードウェアの概要。リセットボタンの説明。 USB MIDI。

Machine Translated by Google

Machine Translated by Google

著作権 © 2025 ポリエンド

著作権所有。本書またはその一部は、書評における短い引用を除き、出版社の書面による明示的な許可なく、いかなる形態においても複製または使用することはできません。

英国で生産

2025年6月 - メス 1.0.0 b

www.synthdawg.com

シンスドッグ

Machine Translated by Google